



10月9日

聖ルイス・ベルトラン司祭 記念

聖ルイス・ベルトランは1526年1月1日、スペイン・バレンシアに生まれ、19歳で両親の望みに反してドミニコ会の修道服を受けた。司祭叙階後、年を経ず修練帳に任命され、この務めを非常な熱心と慎重さをもって果たしたため、ドミニコ会から会のすべての修練院と養成担当者達の保護者とみなされている。すべての人の救いに対する愛に燃え、外国へのミッションを志願し、ついにラテンアメリカへ派遣され、そこで7年以上最も野蛮で敵意を持ったコロンビア、ベネズエラ、西インド諸島、それにおそらく南部フロリダのインディアン族の間でも疲れを知らず働き、これらの民族語を全く知らなかったにもかかわらず、その驚くべき語学の才により無数の人々を改心させることができた。

ついにスペイン人の最高君主達の指揮による原住民たちの残酷で不正な扱いに対して憤慨したが彼らを引き戻させることができず、スペインに帰り再び修練長としての務めを始めた。

後にさまざまな修練院の院長として仕えたが、その中の一つ、故郷バレンシアの修道院において1581年10月9日、帰天。

1671年4月12日、リマの聖ローサと同じ日に教皇クレメンス10世により列聖された。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院 (瀬戸市東長根町) 翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父(ロザリオ管区)による改定版から